

Green Sketch

クリンスケッチ

No.16
2002 SUMMER

特集 暮らしを彩る素敵な空間
～花と緑にあふれた庭を訪ねて～

- 植物に親しむ
「夏を楽しむ水生植物の寄せ植えコンテナづくり」
- いいがた夏の散歩道「はす」
- 読者の広場
- 緑花センター掲示板
- 緑のボランティア団体紹介



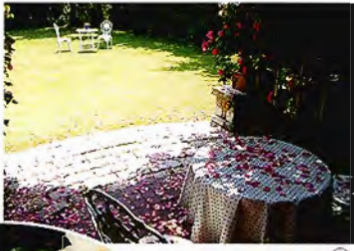
 財団法人新潟県都市緑花センター

暮らしを彩る素敵な空間

花と緑にあふれた庭を訪ねて



①



②



③

- ① バラのアーチの全景
- ② テラスから庭を眺める
- ③ ダイアナ妃をイメージしたバラ
「プリンセス・オブ・ウェールズ」
- ④ 近くの松林からとってきた藤蔓を籠に
- ⑤ ご主人の好きな修景バラ、
「ラベンダー・ドリーム」
- ⑥ 石柱には庭の名前
「ローズ・ガーデン」の名が
- ⑦ バラの花びらにおおわれたテラス



④



⑤



⑥

私たちの暮らしを豊かにしてくれる花や緑。花や緑にあふれるまちづくりは、個々のご家庭で植物を育てることから始まるのではないのでしょうか。みなさんのまちにも、素敵な庭のお宅があるはずですよ。花や緑のある場所には、自然に人が集まり、交流が生まれ、花や緑の輪が広がっていきます。そこで今回の特集は、花や緑に囲まれた素敵な手作りのお庭をご紹介します。

神林村 田中邸

「バラが彩る庭」

閑静な住宅地にある田中さんのお宅を訪ねました。

お庭に案内されていくと、ユキツバキの垣根に囲まれた青々とした芝生が広がっていました。その芝生の緑とは対象的に、ご自宅の白い壁面をおおいくすように赤やピンク、黄色のバラの花が満開になって咲きみだれ、ひときわ印象的な景色でした。

「ローズガーデン・オールドタイム」と名付けられた庭のバラは約30種。建物の壁面やアーチを利用しながら立体的に飾られており、ポイント的に配された彫像の背景としても利用されています。これらのバラが次々と咲いていくように、開花期が前後するものを選んで

- ⑧石積みからアーチまでお手製
- ⑨ツキヌキニンドウのアーチが畑の出入口
- ⑩周囲の緑に映える白い扉
- ⑪お客様を歓迎するウェルカムプレート
- ⑫ヴィーナスの彫像の背景につるバラを誘引中
- ⑬日時計、天使の像がバランスよく配置
- ⑭バラの花に囲まれた天使像



庭づくりは時間をかけて植物の生長とともにじっくりあげていく楽しみがあります。私たちが手を掛けて大切に育てていくと、青々とした緑や美しい花を見せてくれます。私たちの暮らしに、まずは1鉢から花や緑を取り入れてみてはいかがでしょうか。

庭づくりはまだまだ続きますね。華やかなバラの花が終わると、次はアジサイが咲き始めるとのこと、梅雨時にブルーのアジサイがしっかりと落ち着いた雰囲気を出し、また違った表情をみせてくれるのではないのでしょうか。

バラの見事さもさることながら、お庭のレンガ舗装や石積み等を、すべてご自身で手作りしたというのですから大変驚きました。必要最低限のものだけ購入し、外国の写真集で見られる石積みやデザインなどを参考にしてみよう見まねでつくったとのこと。ご主人いわく、つくっている過程が面白いのだそうです。照明や吊り鉢スタンド等、お庭をよく見ると、ご主人の工夫と遊び心いっぱいです。このお庭は、3分の2まで完成したとのことですが、田中さんの庭づくりはまだまだ続きますね。

今では、ご家族の方がパーベキューをして楽しむだけでなく、お孫さんが通っている保育園の園児の皆さんを招待して楽しんで利用してもらっています。ボランティア活動をされているご主人は、この庭を何か福祉の役に立てられたらという想いもあり、単に見て美しいだけの庭ではなく、そこに人が集う庭がよいのだとお話してくれました。

で植栽されており、できるだけ長く楽しめるように工夫しているそうです。ご主人の庭づくりのきっかけは、バラの苗を友人からもらったことが始まりだそうです。40歳を過ぎてから本格的に取り組み、最初は、中学生の時に聴いたレコード『アルハンブラの思い出』のアルハンブラ宮殿をイメージして、家をつくらうと思ったそうです。そのうちに、しだいに好みも変化し、現在の庭の姿になったそうです。



16



17



21



22



24



23



20



18



19

- ⑮前庭の全景
- ⑯外観
- ⑰玄関前を彩る花々
- ⑱エゴノキの花
- ⑲アブローチ
- ⑳車庫の屋根まで伸びたブドウ
- ㉑枝を利用したトレリス
- ㉒ナツハゼの花
- ㉓エゴノキの根元をレンガで縁取り
- ㉔寄せ植えコンテナ

15

「シンボルツリーの ある庭」

田上町 大沢邸

田上町の新築住宅地にお住まいの大沢さんのお宅を訪ねました。9年ほど前にご自宅を新築され、それから少しずつ植物を植えて、現在のお庭までになったとのことでした。奥さま手作りの前庭を拝見させていただきました。

大沢さんのお宅は角地にあり、道路に面している部分はフェンスで囲われています。そこへモッコウバラを植栽し、今では、道行く人が満開のバラを楽しめるまでになりました。

そして前庭中央に立派な株立ちのエゴノキがあります。ご自宅を建てた年に植栽したもので、今では庭のシンボルツリーとして訪れる人を出迎えてくれます。このエゴノキを中心に、道路側から玄関前へとクラック状に園路が伸びています。庭全面芝生で覆われ、園路の曲がり角や周囲のフェンス、建物沿いに樹や花が植えられています。また、園路に沿って鉢仕立てのバラや季節の寄せ植えが配置され、庭に変化をつけています。

実をジャムにすることができると教わってから、玄関前に植えてあったナツハゼの実を摘んでジャムにしたり、ミントは収穫して乾燥させ、ハーブティにして楽しんでおられます。また、車庫の脇のわずかなスペースに植えられたぶどうは、今では100房も収穫できるほどになり、ご近所におすそ分けしているそうです。

大沢さんのお庭も、芝生張りから樹や花の植付けまで、ご自分で思い描いた庭を手作りしています。忙しい家事の合間に庭いじりをしているため、できるだけメンテナンスのかわからないような庭にしているとのことでした。見て楽しみ、香りを楽しみ、食べて楽しめるといったところが主婦ならではの普段の生活にとけこんだ庭づくりなのだと感じました。

個々のご家庭でも、道路に面した部分などを花や緑を植えることにより、町に潤いとやすらぎのある緑の景観をもたらしてくれます。みなさんのご家庭でもできる庭づくりをしてみませんか。

水生植物とは

池や川、湖沼などの水中や水辺に生育する植物の総称です。
水生植物は、4つのタイプに分けられます。

- 沈水植物: 植物全体が水中に沈んで生活する植物 (フサモなど)
- 浮葉植物: 根が水底の土壌に張り、水面に浮く葉を持つ植物 (ヒシなど)
- 抽水植物: 根や茎の一部が水上にでて生活する植物 (オモダカ、ヨシなど)
- 浮遊植物: 水面や水中を浮遊する植物 (ウキクサ、タヌキモなど)



水生植物の寄せ植えをつくってみよう

ご家庭にある寄せ植え用のコンテナを利用して、水生植物の寄せ植えをつくります。

①コーキング材が乾いたらコンテナの仕切りを取り付けます。さらにコンテナと仕切りの間にもコーキング材を塗り、乾かします。



②木製コンテナの隙間をコーキング材でうめて、水漏れしないようにします。



①用意するもの: 木製コンテナ、コーキング材、田土もしくは赤玉土、小石、化粧砂利、水生植物、釘、金づち、合板、のこぎり

※使用した植物…トクサ、フトイ、シマアシ、クワイ、イトスゲ (抽水植物)、ホテイアオイ、ウォーターレタス (浮遊植物) 他
コーキング材…窓回りなどの接ぎ目を埋める防水性の高い材料のこと



④仕切りの片側に小石をコンテナの高さ1/5程度まで入れます。



⑤田土は、あらかじめ水を加えて土をほぐしておいてからコンテナに入れます。



⑥水生植物は、ポットのまま土の上において、配置を考えます。植付け場所が決まったら、植え込みます。写真の場合は、手前に低いものを置き、後ろに背の高い植物を配置しています。



⑦植え込みがおわったら表面に化粧砂利を置きます。手前には水をいれて浮遊植物を浮かべ、できあがりです。

管理のポイント…置き場は、夏外では午前中に日が当たる場所がよいでしょう。真夏は、水温がかなり高くなります。水をあふれさせて入れ替えしましょう。

植物に親しむ

夏に楽しむ
水生植物の寄せ植え
コンテナづくり